

電気を使わないタイプ (非電動型)

消滅型

生ごみを出したくない方に



※土置きタイプもあります



上手に利用するコツ

- 温度が高いと分解が早いので、日当たりがよい場所に設置
- 生ごみは小さいほど、土とよく混ざり分解が速い。
- 臭いや虫は生ごみが土の上に出ていることが原因。乾いた土でふたをするようにしっかりとかぶせる。
- 分解が遅いときは生ごみに米ぬかを一握りまぶして入れると、土の温度が上がり微生物による分解が進む。

その他の非電動型 生ごみ処理機

生ごみ処理機を使わずに
庭に穴を掘って処理することもできます



地中に埋める消滅型



手動で搅拌する消滅型
※専用の基材が必要



素焼き製の堆肥型



堆肥作成と液肥が取れるもの
※専用の基材が必要



ダンボールに市販のピートモス、燐炭を混ぜて基材を作ります。生ごみを約3ヶ月投入した後、1ヶ月ほど放置し、発酵が終わってから堆肥として使います。

鎌倉ハイランド自治会での生ごみ減量の取り組み

ごみ焼却施設の窮状を知り、自治会で家庭のごみを半分にするプロジェクトを立ち上げ、半年間で非電動型「キエ一口」を中心に100台を普及、明確な目標を掲げ、申請の代行やトラブルへの迅速な対応など、初心者でも始めやすく、続けられる環境づくりに努めました。

自然の力で生ごみが消えるのが楽しいという声が多く寄せられました。



ごみ減量キャラバン (鎌倉のごみ減量をすすめる会)

自治・町内会などの会合に出張し、家庭で出来るごみ減量の説明と、上手な生ごみ処理の実演をしている市民ボランティア団体です。市が有料化を計画した3年前からこの活動を始め、既に48カ所の自治・町内会などをまわりました。申込みはごみ減量・資源化推進担当へ。説明は無料です。



電気を使うタイプ (電動型)

堆肥型

お庭や家庭菜園などで堆肥を使う方に



生ごみを投入

